

性感染症に関する豆知識④ 性器クラミジア感染症編



- 予防にはコンドームがやや効果があります。
性行為で女子は子宮や卵管やおなかの中に、男子はおちんちんや精巣にうつります。
- 感染しても男女ともに症状がほとんどありませんが、男子では尿道のかゆみや軽い痛み、膿が出てくることもあります。女子は黄色のおりものが増え、腹痛も。妊娠できないこともあります。
- 出産中に赤ちゃんにもうつります。目の結膜炎、特に肺炎を起こすと重症になります。妊婦健診で検査をします。
- 相談する場所は、女子は産婦人科、男子は泌尿器科です。検査方法は女子は産婦人科で膣から、男子は泌尿器科でおちんちんから綿棒で検査します。パートナーにも話をして検査してもらいましょう。
- 性感染症は無症状のことが多く、気づかないまま他人にうつしてしまいます。妊娠中や出産後に赤ちゃんに感染させてしまうものもあり、流産や死産になったり先天的な病気をもって生まれてくることもあります。

